

◎創世記6～9章を振り返りましょう

◎創世記10章の系図を確認しましょう。それは、おもに何を示していますか。

◎創世記11章1―4を読みましょう

1. 「全地は一つの話しことば、一つの共通のことばであった」とはどういう意味ですか？
2. 「東の方」「シニアルの地」「そこに住む」とはどういう意味ですか。
3. 「さあ、れんがを作って、よく焼こう」とは、彼らのどんな思いが表れていますか？
4. 人々が「町」と「塔」（ジックラトのようなもの）を建てようとした目的は何ですか。
5. 人々はだれの栄光のために「塔」を建て、だれを崇め、だれに反抗しようとしているのか。

◎創世記11：5―7を読みましょう

6. 人間のこのような企てに対して、神はどのようにされましたか。何を意味していますか。
7. 6節の言葉には、神のどんな思いが込められていますか？
8. 神は人々の企てに対して、どうされましたか？それはなぜですか？

◎創世記11：8―9を読みましょう

9. 神が人々の言葉を混乱させた結果として、どのようなことが起きましたか？
10. 人間の企ては、どのような結果となりましたか。何が問題だったのでしょうか。
11. 「バベル」の出来事から、「ペンテコステ」の出来事は何を意味していますか？

◎まとめ

*終わりに、今朝の学びのタイトル（主題）を考えてみましょう

「

」